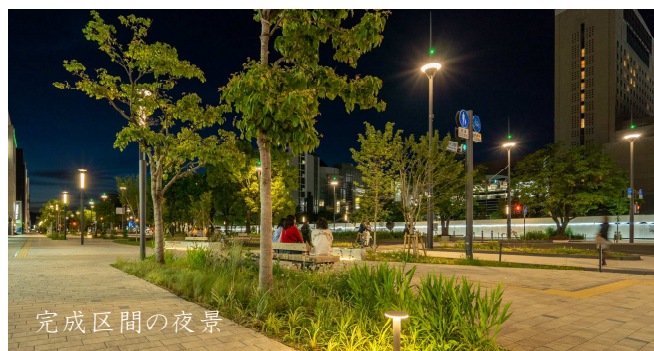


要望書

近鉄四日市駅・JR四日市駅周辺整備事業について



令和7年5月
四日市市

平素は、四日市市の政策にご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。また、今年度の当初予算の配分をいただき重ねてお礼申し上げます。

さて、本市では、国土交通省の強力なご支援のもと、近鉄四日市駅における駅前広場の再編や駅まち空間の再構築、近鉄四日市駅周辺からJR四日市駅に至る中央通り約1.6km区間の歩行者中心の街路空間への転換や都市公園の再編からなる中心市街地再開発プロジェクトを鋭意進めているところです。

このプロジェクトは、別途国で進めていただいているバスタ四日市の整備とも連携し、令和9年度の概成を目指しており、既に中央通りの一部区間と隣接する市民公園の整備が完了し、鉄道とバスタ、中心市街地の商店街を結ぶ、プロジェクトを象徴する円形デッキもいよいよその姿を現してきました。

さらに、円形デッキから駅改札に直結する直線デッキに今年の10月から着手するなど、今年度から来年度にかけては、工事が最盛期を迎えることになります。

市でも、関連する事業として、直線デッキから駅改札口を結ぶ、近鉄百貨店内の通路の整備を民間事業者の協力も得ながら、並行して進めるなど、工程に遅れを生じないように努めているところです。

このような中、中央通りに隣接する商店街ではエリアプラットフォームによる未来ビジョンの取り組みが進むなど、まちなか再生に向けた機運が大きく高まってきました。

国土交通省におかれましては、これまでも各種補助事業や様々な技術的助言などで本市の中心市街地再開発プロジェクトを支援いただいていたところでありますが、事業が佳境を迎える中で、一層、強力な支援をお願いするところです。



直線デッキと円形デッキ・バスタの完成パース



エリアプラットフォームの取り組み
(空き地を滞在空間として活用)

現在、中央通りの沿道では、ホテルやオフィス、マンションの建設などまち中の再編につながる大型の民間投資が相次いでいます。本市に投資いただいている民間の期待に応えていくためにも、遅れることの無いよう確実に事業を推進していくことが必要であると考えております。

つきましては、次の事項を強く要望します。

リニア時代の到来やまちづくりGX・DXなど人々のニーズが変化・多様化する中でも、市民や来街者の期待に応えられるよう、駅まち空間の再構築や居心地が良く歩きたくなる魅力的なまちなかの実現を官民一体となって推し進めていくために、引き続き、次の予算の配分について特段のご配慮をお願いします。

- 都市・地域交通戦略推進事業(防災・安全交付金、個別補助)
- まちなかウォークアブル推進事業(社会資本整備総合交付金)
- スマートシティ実装化支援事業

令和7年5月 四 日 市 市 長 森 智 広

四日市商工会議所 会頭 小川 謙



ホテル・オフィスの立地
(ウォークアブル推進税制活用)



新たに竣工したオフィスビルと隣ではマンションが建設中

左：(新名称)「四日市三交ビル アネックス」
(令和10年春開業予定)

右：(新名称)「四日市三交ビル」
(令和7年3月竣工)

マンション
(令和8年竣工予定)



新たなホテルやオフィスビル、マンションの立地